



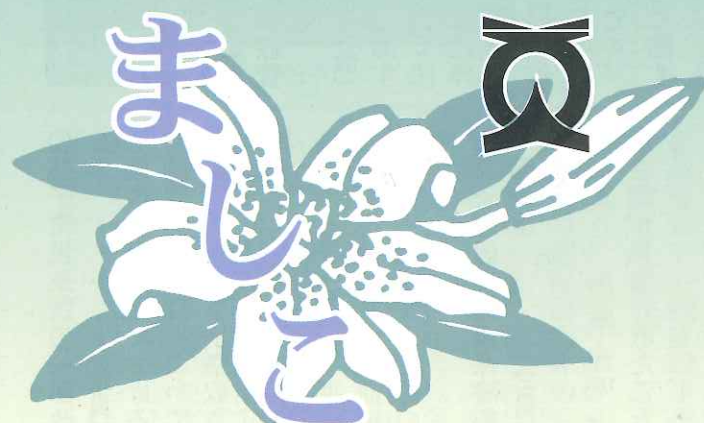
議会だより

No.
127

平成26年
12月定例会



～陶の郷 音楽祭「益子で第九を歌おう会」～



- 12月定例会審議結果 2～3
- 一般質問 4～9
- 常任委員会活動/会議 10～11
- 議会を傍聴して 12

平成26年第140回定例会

◇12月1日～4日◇

提出された議案は、専決処分の承認1件、条例の制定4件、条例の一部改正5件、財産の取得1件、補正予算6件で、全議案が原案どおり可決されました。

また陳情1件について審議し、町政に対する一般質問では6名の議員が登壇しました。

専決処分の承認

○平成26年度益子町一般会計補正予算(第4号)(全員賛成)

12月14日投開票の衆議院議員総選挙にあたり、事務処理を進めるため、補正予算について専決処分したものです。
補正額は歳入歳出それぞれ1千264万3千円であり、これにより一般会計予算総額は83億5千706万6千円となりました。

条例の制定

○益子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定 (全員賛成)

子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所等)の運営及び特定地域型保育事業(事業所内保育等)の運営に関する基準について、本条例で定めるものです。

○益子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(賛成多数)
児童福祉法の規定に基づき、

放課後児童健全育成事業(学童クラブ)の設備及び運営に関する基準について本条例で定めるものです。



○益子町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例の制定 (全員賛成)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令整備により、介護保険法が改正され、介護予防支援に関する基準(基本方針、従業者員数、運営に関する基準等)について本条例で定めるものです。

○益子町地域包括支援センターの職員等に係る基準条例の制定 (全員賛成)

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令整備により、介護保険法が改正され、地域包括支援センターに関する基準(職員、事業等)について本条例で定めるものです。

条例の改正

○益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (賛成多数)

「特別職の職員の給与に関する法律」の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、議員及び町長等の期末手当に同じ同様の措置(年0・15月分の引き上げ)を講ずるため改正するものです。

○益子町一般職の給与に関する条例等の一部改正 (全員賛成)

人事院勧告により「一般職の給与に関する法律等の一部改正する法律」が公布されたことに伴い、同様の措置を講ずるための改正です。

内容は平成26年度分において、行政給料表を平均0・3%引き上げ、勤勉手当を年0・15月分の引き上げを行い、平成27年4月からは行政職給料表を平均2%引き下げるものです。

ただし、平成30年3月31日までは現給料月額が保障される経過措置も定められました。

○益子町税条例の一部改正 (全員賛成)

個人の町民税における全期前納報奨金制度について、給与や年金から特別徴収されている方には制度の適用がされないなど、公平性の問題が生じていることから、平成27年度の課税分から全期前納報奨金制度を廃止するための改正です。

○益子町国民健康保険条例の一部改正 (全員賛成)

健康保険法施行令の一部改正により、出産・育児一時金の金額が見直されたことに伴う改正です。内容は、一時金の額を「39万円」から「40万4千円」に改めるものです。

なお、加算金「3万」は「1万6千円」となり、総支給額は42万円で現行どおりです。

財産の取得

○益子町地域振興拠点施設整備事業の用地取得(賛成多数)

田野地区に開設する益子町地域振興拠点施設(道の駅)の建設のために用地を取得するものです。

◇取得財産 土地(地目 田)

◇所在地 長堤字桜本

◇取得面積 1万5千94・37㎡

平成26年度補正予算

会計区分		補正前の額	12月補正予算額	合計
一般会計		83億5,706万円	63万円	83億5,769万円
特別会計	国民健康保険	31億369万円	△948万円	30億9,420万円
	後期高齢者医療	1億8,430万円	△562万円	1億7,867万円
	介護保険	17億2,651万円	—	17億2,651万円
	内保険事業	17億1,813万円	—	17億1,813万円
	訳サービス事業	838万円	—	838万円
	公共下水道事業	4億4,365万円	3,117万円	4億7,482万円
	農業集落排水事業	1億489万円	30万円	1億519万円
合計		139億2,011万円	1,699万円	139億3,711万円

(1万円未満を切り捨てて表示しています)

【歳出補正予算の主な内容】

一般会計

- ・高齢者肺炎球菌予防接種委託費の追加(604万円)
- ・水痘予防接種委託費の追加(509万円)
- ・がん検診等事業費の増額(373万円)
- ・幼稚園就奨励園費補助金の増額(453万円)
- ・小宅地内油流出調査関係費の増額(301万円)
- ・道普請事業費の増額(300万円)
- ・公共下水道事業特別会計繰出金の増額(819万円)
- ・町道用地取得費の増額(374万円)

国民健康保険特別会計

- ・人間ドッグ検診費補助金の増額(100万円)

公共下水道事業特別会計

- ・七井地区舗装復旧工事費の追加(2,936万円)

陳情

○集团的自衛権行使容認に反
対する国への意見書提出を求
める陳情

宇都宮市兵庫塚

3丁目10-30

全栃木教職員組合

執行委員長 篠原 章彦

◇趣旨

次のことについて国への意見書提出を求めるものです。
・集团的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回すること。
・集团的自衛権行使のための立法措置をおこなわないこと。
・日本国憲法第9条を守り、いかすこと。

◇審議結果

委員会付託

この陳情は、本会議において総務産業常任委員会に付託され、継続調査になりました。

寄附受け入れ

○益子陶芸美術館の収蔵品充実のための寄附

◇寄附者

英国 王立芸術院 陶芸科
教授 マーティン スミス

◇寄附物件等

・マーティン スミス作品
一点(250万円相当)

【140回定例会 賛否一覧】 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 ※議長は採決には加わらない(賛否が分れたもののみ掲載)

議員名	採決結果	河原 誠	樋山 照代	星野 壽男	黒子 秀夫	加藤 芳男	高野 美晴	小杉 守利	廣田茂十郎	小島 富子	高橋 正則	石川 幸男	上野 康雄	仁平 孝芳	鈴木 智明	鶴見 平
議案等																
益子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
益子町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
益子町地域振興拠点施設整備事業の用地取得について	原案可決	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

議会を傍聴しませんか

町政に関心を深めるため、また、議員の活動を知るためにもあなた自身の目で議会を見てみませんか。

【次回3月3日(火)開会予定】

本会議当日、議会事務局(役場庁舎3階)で傍聴証を交付します。●お問い合わせ 議会事務局(☎72-8859)までお願いします。

町政に対する一般質問

6名の議員が登壇



上野 康雄 議員

質問要旨

- ◆これからの観光事業への取り組みについて
- ◆道の駅の運営について
- ◆益子のマスコットについて

観光行政について

問 議員 地方創生の時、今後の発展の為に観光事業への取り組みが重要です。特に滞在型にシフトして行く事が大事と考えますがどうですか？

答 町長 滞在型の観光に力点を置いて陶芸だけでなく観光資源や地域資源を生かし回遊性のあるルートを検討しながら町内に滞在して頂ける様努力したいと考えております。

問 議員 新しい集客力アップの為に企画している事をお聞き致します。

答 町長 魅力的な文化財、飲食店等数多く存在していますので新しい観光ルート

の提案やフェイスブックなどのソーシャルネットワークキングサービスの利用による情報発信の工夫をしたり、ブランドづくりの充実により誘客の促進につなげて行きたいと考えています。又近隣市町との連携については、笠間市との協力や芳賀一市四町との連携、国道121号沿線市町との協力にも力を入れて行こうと考えています。

問 議員 今国でも外国人観光客の誘致に力を入れています。各地方でも客

の流入に余念がありません。町としての考えをお聞き致します。

答 町長 買物を目的としたお客様もいますが日本文化に触れたい、生活を見たいと訪れる方も多数いると思います。益子も米沢、喜多方、会津若松、日光、宇都宮市等と国道でつながったルートを活用して行きたいと考えております。町の焼物通りの活用等も考えております。アジアからの旅行者の増加等も考えさまざまな展開を図っていければと考えています。

道の駅の運営について

問 議員 近隣には多くの道の駅が出来ており後発の我が町は運営に最大の努力が必要となります。私は特に食がターニングポイントになる事と考えますがどうでしょうか？

答 町長 道の駅は農業、商業、観光の活性化や地域づくりの拠点です。農産物販売所や、レストランを設置し、農産物や果樹加工品の販売と共に作り手の紹介や食を通じた地域間の交流、特色あるメニューの開発に取り組

み農業の六次化のエンジンになれる様に努力して参りたいと考えています。又体験交流スペースを活用したり、伝統文化や自然環境の素晴らしさ等もアピールして行こうと考えております。

問 議員 少し前には町内に沢山あった「町の豆腐屋」さん、現在大豆から苦

労して作る豆腐が見直されています。道の駅で復活させ、子供達等が体験しながら食する形の店は出来ない物でしょうか？

説 産業建設部長 今詳細設計中の建物ではそのスペースを取る事は規模的に難しいと考えますが道の駅は今度の建物だけではないと思います。今後活用等の中で検討させていただきます。

マスコットキャラクターについて

問 議員 我町のマスコットも採用以来十数年が過ぎ近年のゆるキャラブームの動きのあるマスコットにくらべて見劣りを感じます。元気のあるマスコットを製作する考えはありますか？

答 町長 現在のマスコットは手も足も短く、動くのが大変ですがここ数年出演依頼が増えています。直ちに変わる事は難しいかもしれませんがマスコットキャラクターを利用しての自治体PRで成功している事例が多々ありまして町のPRや盛り上げ方として今後しっかりと検討してまいりたいと考えております。

問 議員 マスコットの現代版を創作するのにはどの位の予算がかかるのですか？

説 企画課長 当初製作しました時は、一体72万でした。バルーン型は3体で100万でございました。

要 望 観光事業は色々開拓でき分野が有ります。

今後は多面的努力をお願い致します。又道の駅もオープンまでに十分な対策を前向きに検討して頂きより良い形でのオープンを期待しております。マスコットにつきましても子供達や町民に愛される現代版の動きのある元気なマスコットを導入してくれる事を期待しております。

第4次益子町行政
改革大綱に基づく
町の取り組みは

鶴見 平 議員

質問要旨

- ◆行政改革及び実施計画の策定について
- ◆行財政改革の取組みについて
- ◆益子町財政計画の運営状況について
- ◆新未来計画の策定にあたり、町長公約の反映について
- ◆景観行政団体をめざす考えはあるか
- ◆障害者(児)福祉の施策の推進はどの様になっているか

問

議員 第4次益子町行政改革大綱の行政改革をどの様に実行するか、その実施計画はどの様に計画されているかお伺いします。

答

町長 行政改革については、限られた財源を効果的な行政運営と適切な財政基盤の確立とコスト意識をこれまで以上に持ちまして、重点項目として、町づくりに基本条例の制定、事務事業の再編及び整理、行政需要に対応した組織づくり、定員管理及び給与の適正化、人材育成の推進、財政運営の健全化等の6項目を具体的内容に取り組み進めてまいります。

問

議員 行政改革は単なる計画書の作成ではなく、事業の中間的チェックや進捗状況等の総体的チェック期間も必要である。行政改革の進行管理について議会に示し、住民にも公表されるべきであるがどうか。

説明

総務課長 進行管理については当然と考えております。

問

議員 行政改革本部長町長を中心とした内部会議は何回開催されましたか。

説明

総務課長 大変申し訳ありません。平成24年度は一回も一度も開催しておりません。今年度は必ず開催する様に担当の方に指示をして、内容の取りまとめをいたします。

問

議員 行政改革本部長は町長とします。説明では平成24、25年度の二年間は一度も会議は開催しない、特に25年度歳出に於ける補助費等が全体の22%を占める16億9千700万余です。

答

副町長 確かに平成25年度決算は16億は大きな額です。この主な要因は広域ゴミ処理の負担金2億7千万の増が要因で、今ご指摘の補助費等のいわゆる各団体の補助金、純然たる補助金については新たな補助金をつくらず、補助ベースについて増額しない努力をして補助費を抑えていく姿勢であります。

財政の中長期10ヶ
年計画は確立されて
いるのか

問

議員 地方行政は中長期計画に基づき財政計画が確立されている事と思います。益子の今後10ヶ年の財政計画はどうなっているか伺います。

答

町長 本町の財政計画は平成16年8月以後の11月に策定した計画期間の平成17年～21年の5ヶ年、その後第5次益子町総合振興計画後期基本計画の整合性を図る観点から平成22年の計画を見直し、22年を基準として平成23年度から27年度までの5ヶ年計画としてきたことであります。

問

議員 財政計画は常に10ヶ年の中長期的な事業の考え方が必要であると申し上げている。現在の埴地区の下水道事業

は約27億で平成28年度まで、役場周辺の区画整理は39億で平成30年～39年度、10年後には学校の校舎築55年を迎える改革の時期、財政の中長期計画が必然となるがどのように考えているか。

答

副町長 今ご指摘をいただきましてように中長期的財政の継続について考えるのが当然と思っております。

埴地区下水道、益子第一地区が始まりますと金額も明らかにありますが39億を見ております。国庫補助制度、起債制度を合わせまして、39億のうち7億～8億が一般会計財源の歳出予定です。

学校関係につきましても10年後は55年を経過しますので考えてまいります。国庫補助制度がどの程度維持されるか見えないところです。国庫補助、プラス起債をもつて財源に当て込んでいきたい、起債についても毎年7億～8億の元金を償還していく計画です。(新未来計画等については、紙面上省略いたします。)



加藤 芳男 議員

質問要旨

- ◆農産物の地産地消について
- ◆ましこスマイル通貨について
- ◆町道の舗装整備について

農産物の地産地消について

問

議員 先月、教育厚生
常任委員会にて新潟県

十日町市の学校給食に於ける地産地消の取り組みについて研修をしました。特に学校給食において地産地消推進計画の基本指針を定めています。学校給食で学ぶ「食べる・作る」大切さをテーマ掲げ、地産地消の成果を上げています。地元野菜生産者にももって学校給食の献立に使う食材を提示し、綿密に打ち合わせを行い、栽培の協力を要請しています。十日町市は地産地消率50パーセントを超えている農産物があり、学校給食は平均は35・3パーセントを達成しています。益子町

答

町長 町の地産地消に
ついての取組みは、現

在町内にJJAをはじめ4ヶ所の農産物直売所があります。道の駅実証店である「益子のマルシェ」などで地元農産物を取り扱うと共に農産物復興協議会が毎月一回かましん前に於いて「賑わい夕市」を開催しています。一方平成20年度より益子ブランド作出支援事業補助金制度を推進し、新たな農産物加工品の開発や

農産物の新品目導入を行う取組みに対し支援をしています。また直売所や道の駅への農産物出荷を促進し、地場野菜等の生産振興を図る目的でビニールハウス等の設置に対する町独自の支援策を新たに予定しているところです。町内の地産地消率についての統計は、いま現在取っておりませんが、とても大切なポイントと考えております。今後も地域農業の活性化につながるような地産地消の推進に心がけてまいりたいと考えております。

ましこスマイル通貨について

問

議員 今年10月から地
域通貨「マッシ」を発

行しました。地域経済の活性化を主眼に自主的なボランティア活動の推進、待機労働者の需要拡大、地域と人との繋がりを持った地場力の形成を担い、町からボランティア活動と役場関係委員会等々に配布されます。今は第一期試験運用期間ではありますが、今後「マッシ」の使い方につい

て様々な用途に活用できると思います。町民の健康維持、推進の一役として、高齢者の健康管理に対して「マッシ」を活用する考えがあるのか伺います。

答

町長 新潟県三条市は
暮らしの中で歩くこと

を基本に、健康・暮らし・にぎわい・生きがいを柱とした街づくりをすすめています。そのなかの施策として「健康マイレージ制度」を実施しています。これは高齢者の生きがいづくりや健康増進だけでなく、地元の産業振興にもつながる制度ではないかと考えております。町では益子町高齢者総合福祉計画に基づき、介護予防教室などを進めています。外出機会の創出や健康寿命の延長を目的に、今年度介護予防教室の出席率が高かった方や介護予防ボランティアに協力をして下さった方へ「ましこスマイル通貨」の交付を進めています。今後は三条市を参考としながら益子町に合った制度の研究をしてまいりたいと考えています。

町道の舗装整備について

問

議員 町内の生活道路
のアスファルト舗装が

傷んでいます。私たち町民の生活で身近な課題になっています。前年度実施した道路状況調査の結果と今後の町道維持管理の計画について伺います。

答

町長 道路点検につき
ましては、社会資本整

備総合交付金の平成25年度補正で繰り越しにより、今年度実施しています。その委託期間は12月26日なので、点検調査報告がまだできていません。町道において舗装の傷みがあることは認知しています。道路点検の結果に基づきまして舗装の損傷状況や路線の重要度を勘案し、平成27年度から補助金を活用いたしまして、順次舗装補修をして参りたいと考えております。





樋山 照代 議員

質問要旨

- ◆ 集団的自衛権行使容認の閣議決定について
- ◆ 介護・医療総合法にもとづく町の対応について
- ◆ 獣害対策について

集団的自衛権容認の閣議決定の撤回を要求すべき

問 議員 集団的自衛権容認の閣議決定は憲法9

条のもと海外での武力行使は許されないとし、集団的自衛権の行使は憲法上許されないという従来の政府見解を180度転換するものです。憲法改定に等しい大転換を一片の閣議決定で強行するのは立憲主義を否定するものです。住民の安全を守る首長として撤回表明すべきではないですか。

答 町長 集団的自衛権に

この国の安全保障をどう考えていくのか、議論をして国民が決めた方向性に私は従っていくというスタンスです。

問 議員 立憲主義とは、憲法は政権を縛るもの

で、一政権が憲法解釈を変え、政治を行うことは許されないということではないですか。

答 町長 立憲主義はそういうことだと考えています。

要望 議員 半世紀を越える長い国会論議を通じて、

定着・確定したものを180度変えることは許されません。7月14日、15日の衆議院、参議院の予算委員会で日本共産党の議員の追及に対し、自衛隊の活動場所が戦場になる可能性があること、当然身を守るため、任務遂行のため、武器の使用はありうると認めました。集団的自衛権は、日本を守るものではなく、アメリカが起す戦争に日本が参加するもの。北東アジアでの紛争と緊張を解決する上で大切なのは、東南アジアの様に平和

の仕組みを作るために憲法9条に基づく外交力を発揮することです。

介護サービスの後退と介護保険料の引き上げはやめよ

問 議員 「要支援」の人を介護保険給付から抜

かし、総合事業に移行することとは、市町村の条例で実施を遅らせ、平成29年3月まで現行の仕組みを継続することが可能です。町は29年まで延期する気はないですか。

答 町長 町としては、サー

ビスの要望、提供できる事業所や人材も含めて準備する必要があると、移行期間は29年度を目標に準備していく考えです。

問 議員 厚労省のガイド

ライン案では、高齢者が町に介護サービスを申請した時、窓口の担当者が要支援と判断した場合、介護認定の手続きをしないで総合事業にふりむけられるとしています。これは介護を受ける権利を保障した法令違反ではないですか。

答 町長 要支援相当と判断された場合でも、本

人が希望すれば介護認定を受けることができます。

問 議員 来年度は介護保

険料が改定されます。平成24年度の約36%の保険料の引き上げで、24年度に4636万、25年度に5857万円が繰越となりました。決算審議の時、その理由をただし、たところ、予定の特養ホームが建設されなかったため給付費が少なかったと。今後の特養ホームの建設計画はどうなっていますか。

説明 高齢者支援課長 6期

(H27~29)計画では、待機者数が多くないので、後期の計画になるかと思っています。

要望 議員 そういうことで

は、保険料算定に特養建設に伴う給付増は考えずに済みます。給付の額を多く見積り、保険料引き上げをしないように。

イノシシ被害対策の強化を

問 議員 いまイノシシ被

害は深刻で、住民の命にかかわる大問題になってい

ます。ある地域では、イノシシに追いかけられ危険を感じています。危害を加えられ、殺された犬もいます。イノシシ駆除を猟友会(益子分会50名)に民間委託していますが、足りません。益子分会だけでなく芳賀郡支部全体の会員にも駆除してもらう、わなかの資格者を増やす対策が必要だと思っています。

説明 環境課長 わなかけ免

許の取得については、啓発活動に努めています。

問 議員 現在の電気柵への補助制度を拡大し、

自家菜園、10アール以下にも広げる必要があると思います。いかがですか。

説明 環境課長 現時点では

方で、10アール以上でご了承下さい。

要望 議員 住民が傷つけら

ず。命と生活を守るといいう立場から電気柵への補助の拡大、駆除対策の強化、地域ぐるみの対策を強めるべきと考えます。



河原 誠 議員

質問要旨

- ◆教室のエアコン設置について
- ◆健康診断の受診率向上について

教室にエアコンを

問 議員 平成26年11月2日付けの下野新聞に、芳賀郡市1市4町のなかで児童生徒のいる普通教室にエアコンが入っていないのは、益子町のみという報道がありました。真岡市は27校全校、芳賀町も4校全校、普通教室にエアコンが設置されており、この状況について町の考えをお伺いします。

答 教育長 これまで全小中学校の普通教室に扇風機を1台ずつ設置し、暑さ対策を行ってきました。ただ、現在設置している扇風機は床置き式のもので、児童生徒が安全に生活できる生活空間を確保する上でも、益子小と同じように壁掛け式扇風機の配備について検討し、より快

適な生活環境の充実に努めていきたいと、考えておりますのでご協力をお願いします。

問 議員 益子小の改築にあってアンケートなどの要望等を取りましたか。

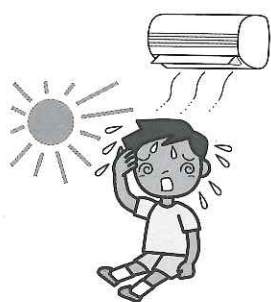
答 教育長 建設に当たっています。そのときの話し合いの中で、エアコンがよいとか扇風機がよいとかの話題はなかったと受けとめています。ただ、同校の場合はOMソーラーシステムという、中の空気を自動的に循環できるシステムをとっていて、非常に風が入りやすいと聞いています。ただ、アンケートそのものについては把握していません。

問 議員 夏場、風とか雨などで窓を閉め切らなくてはいけない場合は、「湿度」も上がりますし、当然、室内温度も上がります。やはり扇風機だけでは限度があるのではないかと思います。

益子町の未来を担うのは、子供たちです。根性論で、暑いのは我慢ではなく、子育て環境のいい町をアピールする意味でも、エアコンを前向きに考えてはどうですか。

答 教育長 まずは、壁掛け式の扇風機の配備について検討していきたいと考えています。そして、その後そういう必要性がある場合には、また検討するというところで理解ください。

要望 近隣市町と同等の教育環境の充実を図られたい。



がん検診時の個人負担の無料化を

問 議員 特定健診時に実施しているがん検診、このがん検診は個人負担を求めています。がんの早期発見、受診率向上のため、この個人負担を減免すべきと考えますが、町のお考えをお伺いします。

答 町長 町では、男性はがん4種類で1,700円、女性は5種類で3,000円の負担をしていた。国のがん検診推進事業で、子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診については、節目年齢の方を対象に無料クーポンを送付しています。そして、受診を勧めています。平成25年度の実績ですが、前年より受診者数、受診率とも増加しています。今後も受益者負担をお願いしながら受診率の向上を図っていきたく考えています。

問 議員 早期発見、早期治療に向けて無料にして、受診を促進し、がんの撲滅に当たってはどうか。



答 町長 健康管理というのは、やはり個人が自覚をして自分の健康をまもるのだというところが出発点になると、結果結局は医療費の高騰につながっていく。がん検診については、負担はありますが、こういう金額で、ぜひみんな健康づくりしていくほうが、健全な町がつけれると考えています。

問 議員 受診率を向上させる今後の対策はどのようなものですか。

説明 健康福祉課長 今後とも受診を勧奨して早期発見、早期治療に、健康は自分の問題であるということを認識いただくような形の広報等も強化していきたいと思っています。

要望 医療費削減のため、努力されたい。

区画整理事業の中に
図書館建設を



星野 壽男 議員

質問要旨

- ◆区画整理事業（町中央）のまちづくり研究会の進捗状況について
- ◆土祭について
- ◆前沢町有林について

問

議員 第134回定例会で区画整理事業の中に図書館建設を要望したところ「将来の構想の中に見据えながら検討していきたい」との答弁をいただきましたが、その後の区画整理事業の進捗状況を伺います。

答

町長 平成24年度末にまちづくり研究会から、役場周辺地区のまちづくりの提案をいただき研究会自体は終了しました。町が提案実施に向けての概要及び調査事業を実施しております。その中に図書館建設を含め、益子に暮らす価値が高まる様な、町の中心部づくりが出来る様努力して参ります。

問

議員 図書館がないのは県内では益子と塩谷の二町だけです。先程の答弁の中に図書館建設の計画も入っていました。高年齢者の人達のために図書館と一緒にコミュニティ会館を建設してはいかがでしょうか。

答

町長 将来の優良な資産となる様、益子に暮らす価値を高められる様な中心部にしたいと思えます。高年齢者の皆さんや、子供を持つお父さん、お母さんのための中間支援センターとか、ボランティアセンターと、いろんな取り組みがあります。構想をまとめながら考えて参りたいと思っております。

問

議員 有志の皆さんが、図書館建設基金を立ち上げ建設に対し役立てたい、

そのために、町が預るための受け皿と、バックアップをしてほしいと言っています。町長はどう思うか伺います。

答

町長 ありがたく感じます。ただ図書館をいっとうやってという段階ではありませんので十分その気持ちを受け止めながらどういふうにそういう形に持っていくかを考えていきたいと思えます。

問

議員 前土祭の後第三回土祭に向けての希望

土祭にラーニングバケーションを取り入れては

や意見の中に「内輪だけで楽しんでいるように見える。焼物の土の祭りだ。」とさめた見方をしていて方達の答えもありました。土祭とは、土に根差し風にそよぐ、この土地の生きる祭り。先人たちの知恵に学び、ほかの土地の人々を招いて交友するとあります。今田野、七井、益子西部の各地区で行っているラーニングバケーションは、土祭の定義に当てはまると思えますので輪を広げ盛り上げるためにも

答

町長 土祭の中に取り入れてみてはいかがでしょうか。

答

町長 町内各地で開催している風土風景を読み解くつどいの話があります。田野、七井、益子西部のそれぞれの地区でも行って参ります。この地区だからこういうふうな事が出来るだろうという様な話し合いを進めていく予定でいます。ぜひラーニングバケーションの皆様にも参加していただき、一緒になって取り組んでいけるのが土祭だと思っております。

前沢町有林のこれから
の対策や方向性について

問

議員 現在、前沢町有林に山桜やもみじを植えたものの、下草刈りや遊歩道の整備はまだこれからだと思えますが、これからの方向性を伺います。

答

副町長 始めとしては駐車場の整備と遊歩道の整備をし、山の頂上に東屋とかベンチとかという声をいただきましたので、本格的にハイキングコースという事でお客様を迎える場として整備

問

議員 計画的に行わなければならないので、青写真を作り道の駅が完成するまでに南の玄関口になる様にしたいかがでしょうか。

答

町長 将来の益子町の、町民全体の資産になるような観点から、担当課を中心に専門家の先生方を含めまして、そういう計画、青写真というものを作っていくという様に考えて参ります。

要
望

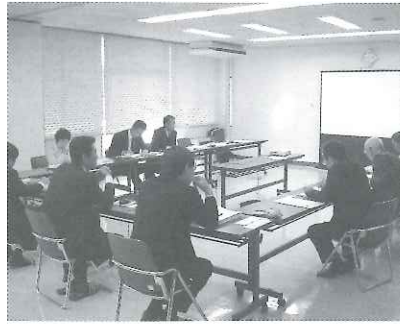
本を読むことによつていろいろな事を学びます。明日を担う子供達にとつて大事な事だと思えます。今年度から新町自治会に高齢者の人達のために、コミュニティ広場が出来ました。これから重要な事だと思えます。

さらに子育て中の若いお母さん方達のためにも、道の駅の建設が始まり、町としても財政のやりくりが大変だとは思いますが、早急に図書館のあるコミュニティ会館の建設を求めます。

総務産業常任委員会
行政視察研修報告

◆研修日／平成26年10月15日・16日
◆出席委員
小島 富子 河原 誠 星野壽男
廣田茂十郎 高橋正則 石川幸男

●山形県朝日町 朝日町議会
・りんごにこだわった町づくりについて
・議会中継、録画中継について



▲朝日町役場にて

【研修の内容】

「りんごにこだわった町づくり」では、農業を活かした町づくりをメインテーマに、質疑を交わした。りんご農家の担い手となる農業後継者育成においては、農業の里親の協議会を組織し、新規就農者を同協議会の里親に振り分けて育成し、年間10人程度を就農させている。朝日町経済のバロメーターと言われる『りんご』は、栽培の歴史は古く、明治20年に遡り、昭和45年には、「無袋ふじ」研究会が誕生し、57年には、朝日新聞産

業大賞を受賞した。さらに、平成16年から新たな販路拡大として台湾をはじめ、タイ、シンガポール、香港、フィリピンなどへ輸出している。朝日町の町づくりでは、平成17年度から3年間をかけて「地域提案型雇用創造促進事業」に取り組み、新たな雇用の創出となる事業支援を進め、4団体が企業を設立、更に20年度からは、朝日町産業創造推進機構を設置し、新商品の開発、独自のマーケット開発を進め、生活の場そのもののブランド化にも取り組んでいる。益子町では、「益子焼」という大きなブランドネームのもと、目指すべき将来像を実現するため、観光客が楽しめる観光地づくり、リピーターを増やす環境づくり、さらには定住地としての魅力を高める「まちづくり」を実現していきたい。

最後に、朝日町の議会定例会のライブ中継や録画中継について、その導入の経緯などを中心に意見を交換した。山間部の多い朝日町の地域間の情報格差の解消と町の活性化

●山形県天童市
・地場産業を活かした産業、シティプロモーションについて

平成25年4月から従来の「観光係」から名称を変更して「タウンプロモーション係」になり、タウンプロモーション事業を進めている益子町。今年度、同僚の事業として、土祭臨時号、ミチカケなどの「益子の人と暮らし」本発行、おもてなし振興事業補助金などの「おもてなし」振興事業、「前・土祭」の開催、観光誘客推進事業として、地元新聞紙への観光情報の記事掲載などの事業を計画し一部はすでに実施済みのものもあります。

今回の研修は、将棋駒を中心にすえた天童市の「シティプロモーション」事業の状況を視察研修し、これからの益子町の「プロモーション」事業の一助とすることを目的とした。天童市は、「将棋の普及」「将棋人口の底辺拡大」を図るため、平成17年度にJR天童駅に「将棋交流室」を公の施設として設置した。また、同駅には、観光情報センターも入っている。指定管理者は同市の観光物産協会が両施設を管理している。

平成28年に観光施設としての一翼をになう「道の駅」開駅を目指す益子町にとりまして、この「プロモーション」事業の役割は重要なものであります。農業、商工業へ裾野を広げていき、地域経済の活性化に寄与し、観光産業の促進につながればと考えます。



▲天童市役所にて

総務産業常任委員会

10/23 集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回に関する陳情について協議しました。他の動向を見定める必要があることより次回への継続審議となりました。

11/27 益子町税条例の一部改正、益子町地域振興拠点施設(道の駅)整備事業、集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回に関する陳情について協議しました。陳情については衆議院の解散により今後の国の動向をみる必要があることにより継続審議となりました。

教育厚生常任委員会

10/23 町駅伝大会激励、常任委員会研修について協議しました。

11/9 今年33回を迎える町駅伝大会で選手の激励をしました。一斉スタートを見た後、各地点で、走ってくる選手に応援の言葉をかけました。



常任委員会研修報告

教育厚生常任委員会 行政視察研修報告

●十日町市役所
・高齢者も障がい者も安心して過ごせるまちづくり
・学校給食地産地消の推進



▲十日町市役所にて

◆研修日／平成26年10月28日・29日
◆出席委員／高野美晴 加藤芳男
樋山照代 小杉守利 黒子秀夫
上野康雄 仁平孝芳 鈴木智明

【研修の内容】

高齢者も障がい者も安心して過ごせるまちづくりでは、「健康寿命100歳を目指しましょう」を目標に掲げ、健康づくり教室などに参加するとポイントが付き、貯まったポイントで特典を受けるサービスを行っている。事業対象者は60歳以上で、対象事業は公民館・社会福祉協議会・老人クラブ・自主グループなどが行う健康・生きがいづくり事業や介護予防の教室がある。健康寿命を延ばし閉じこもりを防ぎ、地域で活躍する事で医療費を抑える事を目指した

事業である。また「シルバーポストカード委託事業」では、障がい者授産施設で就労している人を支援する事業でひとり暮らしの高齢者を対象に、絵葉書を作成し毎月送る事業を展開している。また、障がい者就労施設等からの物品等の調達補助事業も行っている。学校給食地産地消の推進では、平成22年度から27年度計画として「十日町市学校給食地産地消推進計画」を策定し、各年度の目標数値に対する進捗状況を公表し、必要に応じて見直しを行い、平成25年度の地産地消の割合は給食センター137.7%、自校給食31.0%の成果をおさめている。取組として食材納入業者への地域野菜の巡回期の確認、新しい流通ルートの模索と学校給食地産地消推進委員会での関係者の情報交換や意識の共有を行い、積極的に推進をしている。十日町市農林課の学校給食地産地消推進事業

業のじゃがいも・キャベツの種苗代等の助成制度を活用し、地域生産者に働きかけをして使用品目野菜の栽培推進をしている。また冬期間に使用する野菜の長期間貯蔵の推進をして使用率のアップを目指している。

●新潟県三条市 ・スマートウエルネス三条の推進

三条市は平成42年には総人口が2割減り、高齢化率は34.5%になり、現在の健康水準で高齢者が増え続けると、支援を必要とする高齢者の割合が増加すると予測されることから「健康で様々な活動に参加できる高齢者を増やしていく」必要があるとして、スマートウエルネス推進室を設置した。取組みとして「一日過ごすことで自然に8千歩を歩き、健康を維持できるまちづくり」を二日過ごしたくなるまちなかを実現するため、三条マルシェ・交流拠点みんくる等を通して、楽しみのための外出を刺激し、歩行距離の増加と恒常的な賑わいを創出し、まちのなかの「あらゆる素材を使って多くのプログラムを催している。また、「まちなかで朝ごはん」は、食事を提供する事で滞在時間の増加、

孤独になりがちな高齢者の新たな交流の創出を図っている。高齢者が健康寿命を延ばすことは社会保障からみて重要なことである。「スマートウエルネス三条」の推進をそのまま市街化の状況が異なる益子町に当てはめるのではなく、地域性を考慮し具体的かつ積極的に益子町に合った対策を講じていきたい。



▲三条市役所にて

全員協議会

11/27 益子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等4条例の制定、一部改正について協議しました。

10/23 町村合併60周年記念自治功労者感謝状贈呈、新未来計画策定に伴う地域懇談会、マイナンバー制度、前・土祭、はが路ふれあいマラソン大会等について執行部の説明を受けました。その後、議員より町例月出納検査報告、常任委員会報告、芳賀広域事務協議会定例会等の報告をしました。

11/27 小宅地内水路油流出の状況、益子町地域振興拠点施設整備事業に係る執行部の報告の後、議員より町例月出納検査、議会運営委員会・常任委員会の報告、芳賀広域事務協議会臨時会及び、芳賀北部広域行政推進協議会の活動報告がなされました。

12/1 12月議会定例会で上程されている条例の制定・改正、補正予算、専決処分承認について、執行部による説明を受けました。



増子 泰久さん
(職業 銀行員)

私は平成25年4月に、益子町に赴任し、町の公金業務を預かる、金融機関として、議会の傍聴をできる機会を得て毎回、定例議会を傍聴させていただいております。12月の定例議会においても、議会運営を自らの目と耳で体感し、大変臨場感を感じることができ、益子町への強い思いに気づかされました。

地方銀行は、金庫制度時代から、地方公共団体との結びつきが強く、公金の出納事務に精通し、地域の強い信頼に応えてきました。そして店舗網を活用し、地域住民や地元企業の受払いをする一方、地域経済の発展と円滑化に寄与し

ており、これからも益子町の発展の為に貢献していく、大切な使命を感じております。

さて定例議会一般質問においては、各議員の方が、町民の代弁者として、「生の声」を色々な角度から、熱意をもって質問している姿にすばましく感じました。また町長をはじめとし、町執行部は、行政のプロとして専門的見解により、分かりやすく丁寧な答弁を心掛けているのが感じられました。今回も定例議会は、緊迫感のある討議が再三されており、今後益々、各々の立場において、未来の町づくりに貢献できるであろうと強く感じました。

多数の町民の皆さんが傍聴することで、さらに活発な議会になるのではないのでしょうか。今一番課題となっているところに焦点が当てられるような、益子町議会であることを祈念しております。

芳賀北部広域行政推進協議会 要望書提出



この協議会は芳賀郡4町の連携を密にし、広域行政の推進に寄与することを目的とし、益子町・茂木町・市貝町・芳賀町の正副議長及び常任委員長で構成されています。協議会では11月7日、主要地方道益子つくば線や宇都宮笠間線を含む6路線の道路整備促進等の要望書を、栃木県議会議長、県土整備部長等に提出しました。

また、1月15・16日にも同協議会を開催し、要望活動に係る報告、来年度の事業計画、今後の芳賀北部4町の活動や課題について協議しました。

芳賀郡市町議会議員自治研修会に参加



11月13日市貝町において、芳賀郡市町議会議長会主催の議員自治研修会が開催されました。慶応義塾大学法学部教授片山善博氏による講演が行われました。片山氏は「地域の課題と地方議会の役割」をテーマに地方再生、子育て支援、教育再生等に係る実践的なお話をされました。

栃木県町村議会議員研修会行われる

11月28日、宇都宮市市民活動センターにおいて、栃木県町村議長会主催の議員研修会が開催され、益子町をはじめ県内11町の議員が参加しました。山形大学法経政策学科教授金子優子氏による、「地域活性化と議会の役割」の講演ののち、講師に防災システム研究所長 山村武彦氏を迎え、「地域と自治体のこれからの実践的防災・危機管理」と題して、防災隣組の提言、防災新常識等の講演がなされました。

議会日誌

11月

- 4日 上水道企業団先進地視察（～5日）
- 5日 長野県東御市行政視察受け入れ
- 6日 県議会議長会議・研修会
- 7日 芳賀北部広域行政推進協議会要望活動
- 9日 教育厚生常任委員会（町駅伝大会激励）
- 12日 町村議会議長会全国大会
- 13日 芳賀郡市町議会議長会自治研修会
- 21日 議会運営委員会
- 芳賀郡市町議会議長会定例会
- 27日 総務産業常任委員会
- 教育厚生常任委員会
- 全員協議会
- 28日 県議会議議員研修

12月

- 1日 定例会（～4日）
- 全員協議会
- 25日 議会だより編集特別委員会
- 芳賀広域行政事務組合議会定例会

1月

- 13日 茨城県境町行政視察受け入れ
- 15日 芳賀北部広域行政推進協議会（～16日）
- 23日 全員協議会
- 総務産業常任委員会
- 教育厚生常任委員会

議会だよりNo.127 2015年2月1日発行

●発行／益子町議会

●編集／益子町議会だより編集特別委員会

栃木県芳賀郡益子町大字益子 2030 番地

TEL：0285-72-8858・8859 FAX：0285-72-0900

E-mail：gikai@ms.town.mashiko.tochigi.jp

■印刷／旬あらい印刷